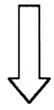


日本人小児の高脂血症に関する疫学的，臨床的研究

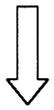
分担研究者	都立小児病院	熊谷通夫
研究協力者	弘前大学衛生	佐々木直亮
	岩手医科大学小児科	若生宏
	都立老人研究所	篠野脩一
	東京女子医科大学小児科	草川三治
	日本大学小児科	大國真彦
	日本大学小児科	北川照男
	慶応大学老人内科	五島雄一郎
	大阪大学小児科	藪内百治
	慶応大学中検臨床化学	加野象次郎
	慶応大学病理	細田泰弘
	九州大学小児科	本田 憲

研究目的

虚血性心疾患の基本的病理である動脈硬化症の予防については、既に2次予防の限界が示され、一次予防（小児期が中心）にその中心が置かれている。しかるに日本人小児についてのこの方面の研究は少い。本研究の目的は、日本人小児について虚血性心疾患の危険因子の実態を疫学的，臨床的に研究調査し、具体的な予防対策を講じ、その効果の長期予後をみることである。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

虚血性心疾患の基本的病理である動脈硬化症の予防については、既に 2 次予防の限界が示され、一次予防(小児期が中心)にその中心が置かれている。しかるに日本人小児についてのこの方面の研究は少い。本研究の目的は、日本人小児について虚血性心疾患の危険因子の実態を疫学的、臨床的に研究調査し、具体的な予防対策を講じ、その効果の長期予後をみることである。